

日本ニュージーランド学会

Newsletter No. 86

August 10, 2013



例年より早く梅雨があけると同時に夏到来、猛暑が続いています。日本ニュージーランド学会が発足して今年で20年目を迎え、6月には第20回記念研究大会が日本大学文理学部で開催されました。この学会が、更に多くの会員が参加した活発な研究活動となる事を願っています。

.....

● 報告：

➤ 第20回記念研究大会・総会

2013年6月15日(土) 日本大学文理学部「オーバル・ホール」にて開催しました。広く素晴らしく設備のよい会場でした。今年は学会創立20年の記念大会でした。これを記念して初代から4代までの会長によるNZ研究と今後の学会に関して20周年記念シンポジウムを開催しました。第5代の山岡道男先生は現在オークランド滞在中で、出席されず残念でした。

基調講演は新任の駐日ニュージーランド公使 Janet Lowe 氏をお招きし、駐在2度目の視点でNZからみた日本について講演をいただきました。

午前の部

第1報告

名波彰子 (広島修道大学) 「ニュージーランドのNGO：外国人定住支援を事例に」

第2報告

千手正治 (常盤大学) 「ニュージーランドにおけるCommunity Workを通じた就労からみた我が国の保護観察対象者に対する社会貢献活動の発展可能性に関する一考察」

午後の部

基調講演

Janet Lowe (駐日ニュージーランド公使)

「ニュージーランドからみた日本のイメージ」

学会創立20周年記念シンポジウム

1. 小松隆二 (日本NZ学会顧問・初代会長)
「ニュージーランド研究の20年：NZ研究からNZ学へ」
2. 高橋康昌 (日本NZ学会第2代会長) 「ニュージーランド改革をどう評価するか」
3. 岡田良徳 (日本NZ学会第3代会長) 「学会入会前の私のニュージーランド研究：私の研究の恩人たち」
4. 原田壽子 (日本NZ学会第4代会長) 「日本ニュージーランド学会・研究大会における研究報告とシンポジウムの流れ」

懇親会は大学内の『カフェテリア秋桜』にて開催、Janet Lowe氏も特別参加され、総勢17名の参加がありました。

.....

● お知らせ：

1. 第67回研究会 (NZ学会 (関西), 東北公益文科大学NZ研究所との合同研究会)

日時：2013年10月26日 (土) 13:30-16:50

場所：大東文化大学板橋キャンパス

3号館 30114 教室

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

<<http://www.daito.ac.jp/access/index.html>>

* 執行部会議は、**11:00**より**3号館 30113 教室**にて開催いたします。

受付 (13:00 より開始)

第1報告

武田真理子・和田明子 (東北公益文科大学)

「カンタベリー地震の復興のプロセス：市民・行政の連携を中心に」

第2報告

近藤 真 (岐阜大学)

「ニュージーランドの改憲構想と日本の改憲構想：グローバリゼーションにおける『新立憲主義』の台頭」

第3報告

斎藤達雄 (日本 NZ 学会理事)

「核を持たぬニュージーランド」

懇親会 (17:20-19:20)

会場：中華料理「水晶楼 徳丸店」

東京都板橋区徳丸 2-3-1

徳丸スクエア 1F (TEL: 03-6906-4585)

参加費：4,000 円

なお、懇親会へ参加をご希望される方は、**10月12日**までに必ず事務局宛にご連絡ください。
連絡先：<jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp>

2. 会則変更と会員規定新設について

2013 年 6 月 15 日に開催されました日本ニュージーランド学会総会において、理事会より会則の一部変更と会員規程の新設が発議され、全会一致で承認されました。会則の中の会計に関する変更と新設事項は次の通りです。

➤ 会則一部変更：

第3章第11条 執行部会および理事会

執行部会は随時開催し、顧問、会長、副会長、事務局長、会計、および学会誌、ニューズレター、ホームページの各業務を担当する理事により構成し、学会活動に関する迅速な決定を行う。
(以下略)

➤ 会員規程の新設：

- (1) これまでの会員を「個人会員（年会費 4,000 円）」と規定し直すと共に、新たに「学生会員（年会費 3,000 円）」と「後援会員（年会費 6,000 円）」を新設する。

- (2) 個人会員で一時金として 40,000 円を納入した者は、終身会員として、以後の会費納入を要しない。
(3) 会費を 3 年以上滞納した場合は、退会とみなされることがある。
(4) 2013 年度より、事業年度・会計年度末を 3 月 31 日に変更する。

他の変更事項も含め、同封の「日本ニュージーランド学会会則」と「日本ニュージーランド学会会員規程」をぜひご一読願います。

.....

● 「NZ に関する新刊著書紹介欄」の新設について

会員の皆様により発刊されたニュージーランドに関する新刊著書について、ニューズレターに掲載し、紹介する欄を設けることとなりました。

掲載を希望する方は**著者名、著書名、発行所、発行年月日**を事務局までお知らせください。

連絡先：<jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp>

.....

● 既刊学会誌は以下のサイトで閲覧可能

日本語：

➤ http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001506_ja.html

英語：

➤ http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001506_en.html

.....

● 『日本ニュージーランド学会誌』第21巻の原稿募集

執筆ご希望の方は、**2014 年 2 月末日**までに下記学会誌編集担当理事宛にお申し込みください。

完成原稿の提出締め切り日は、**2014 年 3 月 11 日（必着）**です。投稿規程の詳細につきましては、学会ホームページおよび学会誌の巻末をご参照ください。

提出先：武田真理子（学会誌編集担当理事）

〒998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1

Phone: 0234-41-1271 (東北公益文科大学)

Email: takeda@koeki-u.ac.jp

.....

● 会員動向（2013 年 7 月 13 日現在）

➤ 入会（1 名）

山本 光氏（横浜国立大学）

.....

● 学会費納入のお願い：

2013 年度（2013 年 6 月 1 日－2014 年 3 月 31 日）の学会費（4,000 円）の納入はお済みでしょうか。振込先は以下の通りです。

郵便振替 00130-3-425301 日本 NZ 学会

日本ニュージーランド学会の活動にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

研究会や国際シンポジウムの開催，学会誌やニューズレターの発行，ホームページの運営等の活動を支えておりますのは，皆さまにお支いただく年会費です。学会の健全な財政を維持するため，年会費未納の方は上記の口座にお振込くださいますようよろしくお願いいたします。



日本ニュージーランド学会事務局：

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学 GIS：グローバル教養学部

渡辺宥泰（渡辺宥泰研究室内・事務局長）

Phone: 03-3264-9779

Email: yutai@hosei.ac.jp（渡辺宥泰）

Email: jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp

（事務局）

HP: <http://www.japan-nz-academic-society.org/>